

## 「城南創業スクール」を開催

当金庫では、蓮沼支店内に創業支援施設「J-Create+」を設置するなど、創業支援に積極的に取り組んでいます。

そうした中、2023年7月7日(金)から、東京都内で創業を目指す方、創業5年未満の事業者、第二創業を検討している事業者を対象とした「城南創業スクール」をオンラインとリアルハイブリッド形式にて開講いたしました。

この創業スクールは、東京都の「女性・若者・シニア創業サポート事業」の一環として開催するもので、今年度は全5日間の講義を、15名の受講生の方々に無料でご提供しています。

共催機関である公益社団法人日本サードセクター経営者協会や株式会社日本政策金融公庫等より講師をお招きし、マーケティングの基礎知識やビジネスモデルについて体系的に学べる講義が行われます。



## 復興庁より感謝状を授与

当金庫では、東日本大震災の発生以降、約4年間にわたる被災地でのボランティア活動をはじめ、「よい仕事おこしフェア」の開催を通じた被災地の産業復興や、震災の記憶を風化させることなく次の世代に伝え続けていくためのシンポジウムや報道写真パネル展の開催など、被災地支援を継続的に行ってきました。

こうした活動が高く評価され、2023年6月30日(金)、当金庫は復興庁より、東日本大震災以降の一連の活動に対する感謝状を授与されました。今回は30の企業や団体に感謝状が贈られ、被災三県(岩手県・宮城県・福島県)以外では当金庫のみが授与対象に選出されました。

授与式では、渡辺復興大臣より、「被災地を支え続けた活動に心から感謝します。今後も手を取り合って頑張っていきましょう」と、大変ありがたいお言葉をいただきました。

また、授与式の後には当金庫が事務局を務める「よい仕事おこし」フェア実行委員会\*と復興庁との間で包括連携協定が結ばれ、被災地の産業復興や震災の記憶の風化を防止する情報発信について連携していくことが改めて確認されました。

\*「よい仕事おこし」フェア実行委員会は39の信用金庫で構成され、「よい仕事おこしフェア」「よい仕事おこしネットワーク」を運営しています。



(中央) 渡辺復興大臣  
(右) 福島信用金庫樋口理事長



## 「軟骨伝導イヤホン」を全店に導入

当金庫は、耳の聞こえにくいお客様が窓口でお困りにならないようにするため、窓口で職員とやり取りする際にご使用いただける「軟骨伝導イヤホン」を全店に導入しました。

軟骨伝導は、音源から内耳(蝸牛)に至る音伝導経路の一つで、この経路は2004年に奈良県立医科大学の細井裕司教授(現学長)によって発見されたものです。従来から知られている気導、骨導(骨伝導)とは異なることから「第3の聴覚経路」とも呼ばれています。

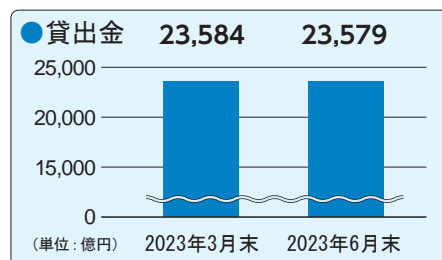
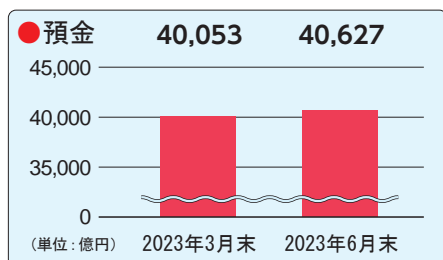
当金庫が事務局を務める“よい仕事おこし”フェア実行委員会は、2023年2月27日(月)に「奈良県立医科大学」「一般社団法人MBTコンソーシアム」と包括連携協定を締結し、医学知識や技術を地域経済の発展に生かす取組みを推進しています。今般、こうした活動の一環として、当金庫本店にて軟骨伝導イヤホンの実証実験を行ったところ、利用されたお客様から「声がとてもクリアによく聞こえた」「何度も聞き直さなくてよかった」と、多数の評価のお声をいただいたことから、これを全店に導入しました。

軟骨伝導イヤホンは、装着部分に凹凸が無いいため、一般的なイヤホンに比べ衛生的で、骨伝導と比べ音漏れも少ないため、お客様のご相談内容が周囲に聞かれてしまうといったリスクを減らす効果が期待されています。

この製品の導入は、全国の金融機関や自治体に広がっています。当金庫でも全店のカウンターに設置していますので、お気軽にご利用ください。



### 当金庫の預金と貸出金について



● 取引先数

預金取引軒数	597,315
融資取引先数*	51,230

(2023年6月末現在)

※総合口座先、預金担保のみの先を除く。

